




題材指導計画

題材		自分を見守る鬼面 (全7時間)		
目標	自分自身を見守り、激励する鬼面を形の組み合わせや全体の構成・装飾を工夫して、粘土で表現する。			
評価	関心・意欲・態度	自分自身を見守り、激励する鬼面を表現することに興味をもち、表し方を工夫しようとする。		
規準	発想や構想の能力	形の組み合わせや全体の構成や装飾を工夫して、自分自身を激励する鬼面の形の構想をする。		
	創造的な技能	粘土を使い、自分の表したい感じを形に表し、半立体で表現する。		
	鑑賞の能力	鬼面瓦や完成した自他の鬼面を鑑賞し、よさを味わう。		
過程	時間	学習活動	支援及び指導上の留意点 (太字は、研究上の手立て)	
美術 作品 を 味 わ う	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 坂角数珠掛鬼面(図1)を鑑賞し、鬼面瓦のよさや美しさ、表現の工夫を感じ取る。 ○ 表現課題「自分自身を見守り激励する鬼面を粘土で表現する」をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鬼面瓦を見て感じた、怖さや強さに着目させ、なぜそのような瓦をつくっているのかを考えさせ、人々を見守り、災いを寄せつけない強さを表す鬼を表現するよさを理解させる。 ○ 目、鼻、口などの形やそのふくらみやへこみに着目させ、怖さや強さを表す工夫を考えさせ、半立体で鬼を表すよさを理解させる。 ○ 表現課題を告げ、鬼を使って振り払いたい自分の内面の弱さについて考えさせ、表現への意欲を高め、藤岡鬼面瓦のよさを生かした自分の表現の発想・構想ができるようにする。 	 <p>図1「坂角数珠掛鬼面」鬼師 山口茂・作</p>
	ふくらませる・ねる	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り払いたい自分の弱さを考える。 ○ 鬼面の土台の形を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人々を見守り、災いを寄せつけない強さを半立体で表した藤岡鬼面瓦のよさを生かし、自分自身を見守り、弱さに打ち勝つための鬼を粘土を使い半立体で表現することを伝え、自分が頑張りたいことを考えさせる。 ○ ウエッジングを使い、弱さに負けず頑張りたいことからイメージを広げさせ、自分の鬼面に取り入れる形の発想を広げさせるようにする。 ○ 自分の頑張りたいことに関係したものの形を取り入れた鬼面の土台の形を考えさせる。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鬼面の下絵を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藤岡鬼面瓦の他の作例を提示し(図2、図3)、鬼を使い強さを表す様々な表現があることを理解させ、生徒の鬼面のイメージを広げさせる。 ○ 提示した鬼面瓦を見て、つり上がった眉や目や口、大きく開かれた目と口、曲線を生かした形など、鬼面瓦に共通する顔の特徴をあげさせ、その特徴を生かし、自分が頑張りたいことに関係した形を組み合わせながら、鬼面のアイディアスケッチをさせる(図5)。 	  <p>図2 天平古代鬼面 鬼師 山口茂・作</p> <p>図3 板角鬼江戸時代 鬼師 山口茂・作</p>
あらわす	4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 粘土を使い、自分の考えた鬼面を半立体で表現す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土台づくりから完成までの制作過程の例を写真で提示し(図6~11)、計画的に制作を進められるようにする。 ○ 土台を形成し、大まかな顔の作りをヘラなどで描画し、バランスよく 	<p>図5 アイディアスケッチの例</p>

る。

粘土をのせることができるようにする（図6、図7）。

- 目、鼻、口、頬などを半球や三角錐、ひも状にした粘土などを使い土台にのせさせ、全体の肉付きや位置のバランスを確かめさせる（図8、図9）。
- 眉毛や髪の毛などの細部に粘土をのせさせ、完成のイメージをつかませる（図10）。



図6 土台の形成



図7 顔の描画



図8 肉付け①



図9 肉付け②



図10 細部



図11 完成

- 藤岡鬼面瓦のヘラを使い形を整える様子を動画で視聴させ、細部を整えることにより、形に緊張感が生まれ、印象が強くなることを理解させる。

自他の作品を味わう

7

- 完成した自他の鬼面を鑑賞してよさや美しさを味わう。

- 自分の活動を振り返り、自分の弱さを克服したい思いや、それを表すための形の工夫点、完成した作品から感じるよさを考え、ワークシートに記入させ、制作の過程を振り返ることができるようにする。
- ワークシートに記入した制作の意図などを発表し合い、友達の作品のよさを認め合い、気付いたよさを賞賛し合えるようにする。



図12 完成作品の例